

平成 29 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	福山市立新涯小学校		
学校長氏名	矢田 和宏	栄養教諭氏名	森島 梓
職員数	58名	児童・生徒数	840名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- ・学校全体の残食量が多く、特に魚献立の残食量が多い。
- ・食べる時の正しい姿勢や食事マナーの定着が不十分なところがある。
- ・食器破損が著しく多い。

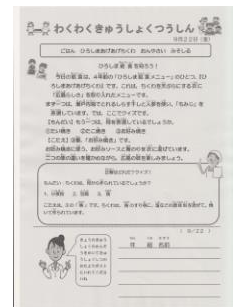
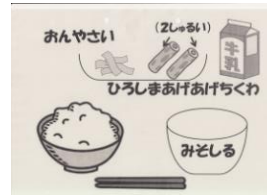
2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- ・給食時間の指導の充実
- ・残食率の減少
- ・年間食器破損枚数（150枚以下）

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ） 給食時間の充実

- ・毎日の給食に関する指導資料「わくわく食育通信」「配膳表」を作成し、各教室で指導していく。
- ・正しいはしの持ち方，食器の持ち方の指導
- ・食器を置く位置の指導
- ・毎日残量を計測し，各学級の実態を把握し指導に生かす。
- ・食物アレルギーや個々の体調等に気を付けながら，しっかり食べきるように給食指導をする。



【取組2】（テーマ） 残食ゼロへの取組

《取組方法》

- ・校内放送や給食委員会で「もぐもぐタイム」を呼びかけ
  - ・給食室前に、クラスごとの残食色別表を掲示
  - ・給食委員会が、わくわくモーニング集会で残食の少ないクラスを表彰
  - ・養護教諭と連携し，11月のミニ保健では全クラスに食育の指導を行った。
- 給食パクパク週間を設定し，振り返りカードを使って1週間残食調査をした。



### 【取組 3】(テーマ) 年間食器破損枚数削減

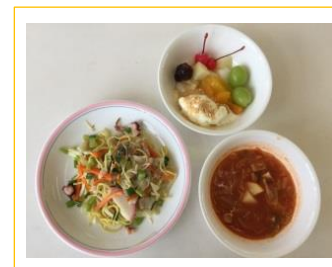
- ・ 給食時間の過ごし方の徹底
- ・ 食器の持ち方，食器の位置を指導
- ・ 給食委員会が毎月わくわくモーニング集会で食器破損0クラスの表彰
- ・ 各学期で破損0枚のクラスにレインボー免許の贈呈（ご褒美企画）
- ・ 破損0枚の連続日数の掲示



### 4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

#### ●指導内容

- ・ 給食室前への掲示：「ひろしま給食」の写真やレシピを紹介
- ・ 給食指導資料の活用：各学級へ配布し，教室掲示を行う
- ・ 食数調査の実施：各学級で集計を行う



#### ●家庭・地域への働きかけ

- ・ お知らせの便りや食育だより・給食だよりによる情報発信を行う。
- ・ 7月に子ども料理教室を実施し，「熱く燃えろ！！Cスープ」  
「広島名物たっぷり塩レモン焼きそば」を取り入れた。



### 5 取組に対する成果と課題

#### 【成果】

- ・ 学校給食残食率の減少…目標達成  
福山市平均 1.2% (昨年度) ⇒ 1.2% (今年度)  
新瀬小学校 2.4% (昨年度) ⇒ 1.4% (今年度)
- ・ 年間食器破損枚数の削減…目標達成  
《児童の食器破損枚数》  
202枚 (昨年度) ⇒ 121枚 (今年度：3月1日現在)



#### 【課題】

- ・ 食事のマナーの定着ができていない児童が多くいる。
- ・ 給食時間の指導について教職員間の共通理解ができていない。

### 6 今後の取組に向けた改善方策について

- ・ 食事の姿勢，はし・食器の持ち方等について，給食時間の声掛けを担任と連携して取り組みたい。
- ・ 給食だよりや食育通信等を通して，児童・保護者に情報を発信し，啓発する。
- ・ 学校全体で残食・食器破損の減少につとめる。